

こちらの本もよんでみてね！

こども読書のまち いちのみや

きみがおしえてくれた。

E キミ 今西 乃子/文, 加納 果林/絵 (新日本出版社)

のら犬ボン

E ノラ たじま ゆきひこ/作 (くもん出版)

ふえ
笛ふき小犬

E フェ かわしま ひとみ/文, たかみ はなこ/絵 (文芸社)

やっぱりノミタくん！

E ヤツ ヘレン・スティーヴンズ/さく, せな あいこ/やく (評論社)

しんはっけんず かん
ぼくとポチの新発犬図鑑

E ホク きたやま ようこ/作 (理論社)

もうどう犬べえべ

E モウ セアまり/文, 平澤 朋子/絵 (ほるぷ出版)

だいすきだよぼくのともだち

E タイ マラキー・ドイル/ぶん, スティーブン・ランパート/え, まつかわ まゆみ/やく (評論社)

ちやうどうけん
聴導犬くんれん生ふく

E チヨ 鈴木 びんこ/作 (新日本出版社)

ぼくは犬や

E ホク ペク ヒナ/作, 長谷川 義史/訳 (ブロンズ新社)

いぬのえほん



一宮市立中央図書館
2021年10月発行



E チャ

チャッピーの家^{いえ}

かぞくがかまってくれなくなった犬のチャッピーは、さみしいおもいをしたくないと、いえを出ていくことに。チャッピーがしあわせにくらせるいえは見つかるでしょうか。

いまい あやの/文・絵

(BL出版)



E ワタ

わたしの病院、犬がくるの^{びょういん}

「わたしがにゆういんしているびょういん、犬がくるんだよ。そとには出られないけど、犬とおさんぽできて、うれしいな！」セラピー犬とのふれあいを、しゃしんでつたえるえほん。

大塚 敦子/写真・文、細谷 亮太/監修

(岩崎書店)



E シロ

ジロがなく

生まれてすぐにひとりぼっちになり、カラスにそだてられた犬のジロ。やがて、たびに出たジロは、ぜったいなかない犬としてゆうめいになりました。

山下 ケンジ/作・絵

(講談社)



E ホク

ぼくんちのゴリ

ぼく、ゴリのことなら、なんだってしてるんだ。さわるとちくちくするひげがある。あるときは4本足。ぎざぎざとがったはがたくさんある。ほかに、まだまだいっぱいしてるよ。

笠野 裕一/さく

(福音館書店)



E ホク

ぼく、アーサー

くんれんをうけてもうどう犬になったアーサーは、目の見えないノリオさんと、くらしはじめます。もうどう犬アーサーとノリオさんのくらしがわかるおはなしです。

井上 こみち/文、堀川 理万子/絵

(アリス館)



E オオ

オオカミから犬へ！

犬のそせんはオオカミでした。犬はどのようにしんかしてきたのでしょうか？人と犬はどうしてなかよしになったのでしょうか。はじまりは、ずっとずっとむかしのこと。

ハドソン・タルボット/作・絵、真木 文絵/訳

(岩崎書店)



E テイ

ディロン

ディロンのかいぬしは、ある日とつぜんいなくなりました。おりに入れられたディロンは、どんどんよわっていきます。そんなディロンのもとへある人がやってきました。

井上 こみち/原作、中村 悦子/絵と文

(教育画劇)



E イヌ

犬のジミーはバレエ・スター

カナダナショナルバレエのビーグル犬ジミーは、バレエが大すきでした。「いつかじぶんもぶたいでおどりたい！」とレッスンにはげめます。ジミーのゆめは、かなうのでしょうか。

リンダ・メイバーダック/文、ジリアン・ジョンソン/絵、小澤 征良/訳 (講談社)

